

地方教育行政の組織及び運営に関する
法律第26条第1項の規定に基づく

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価

(令和4年度対象)

令和5年9月
流山市教育委員会

目次

1. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
2. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施	2
(1) 点検・評価の対象	
(2) 点検・評価の方法	
3. 流山市一般会計歳出予算と流山市教育委員会歳出予算	3
4. 点検・評価結果	
I 子ども・子育て	
I-1 学童クラブの充実	4
I-2 青少年の健全育成の促進	5
II 学校教育	
II-1 確かな学力の育成	6
II-2 教育環境の整備	10
II-3 児童・生徒の安全確保と健康増進	15
II-4 特別支援教育、教育相談の充実・構築	17
II-5 つながりのある教育	18
III 生涯学習	
III-1 多様な生涯学習機会の充実	20
III-2 生涯学習の環境整備	22
IV 文化芸術・歴史	
IV-1 市民主体の文化芸術活動の充実	26
IV-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実	27
IV-3 歴史的文化的遺産の保存・活用	28
V スポーツ	
V-1 スポーツ活動の促進	29
V-2 スポーツ環境の整備	30
5. 学識経験者の意見	31

1. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

点検・評価は、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、教育行政の推進に資するとともに住民への説明責任を果たしていくことを目的としたものです。

点検・評価の具体的な方法については、各教育委員会が実情を踏まえて判断することとされており、流山市教育委員会では、流山市教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱（平成24年流山市教育委員会告示第15号。以下「要綱」という。）を定めて点検・評価を実施しているところです。

流山市教育委員会では、国や県の教育振興基本計画をもとに、流山市の総合計画にのっとり「流山市教育振興基本計画」を策定するとともに、本市教育行政における年度ごとの教育施策を定めた「流山市の教育施策」を毎年度策定し、教育行政の一層の充実・推進に努めています。

この点検・評価の報告書は、「流山市の教育施策」に掲げる各施策の分野ごとの重点事業等の執行状況について、教育に関する学識経験を有する方々の知見を活用し、その取組状況を検証し、成果と課題について点検・評価を行い、その結果を報告するものです。

○流山市教育振興基本計画の基本理念

<学校教育>【学びに向かう力と自立する子どもを育む】

流山市の学校教育においては、「生きる力」を育むという理念を踏まえ、児童生徒一人一人が生き生きと学べる豊かな教育活動を実践する。そして、子どもたちの可能性を引き出す教育の実現を目指していく。また、流山市の子どもたちが自信を持ち、いろいろなことに挑戦し、未来に活躍できる「自立・自律」した子どもが育つよう、流山の教育を推進する。

<生涯学習>【豊かな人生と文化芸術を創造するまちづくり】

生涯学習においては、豊かな人生につながる生涯学習の推進と文化芸術の醸成・歴史の継承、スポーツの振興を目指して、市民の学習要求に応える機会と場を提供していく。そして、地域の環境づくりとともに、文化芸術・歴史・スポーツに親しむ機会の創造のために、事業を推進する。

2. 流山市教育委員会教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うことが義務付けられており、その際、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされています。

流山市教育委員会においてもこの規定にもとづいて点検・評価を行い、報告書をまとめるとともに公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(1) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、要綱第2条において「毎年度策定する教育施策に基づく主要施策に関する事務のうち、教育行政の推進上重要な課題に係るものその他点検及び評価を行うことが必要と認める事務として委員会が選定したもの」と規定していることから、令和4年度の「流山市の教育施策」に掲げる各施策の分野ごとの重点事業を点検・評価の対象とします。

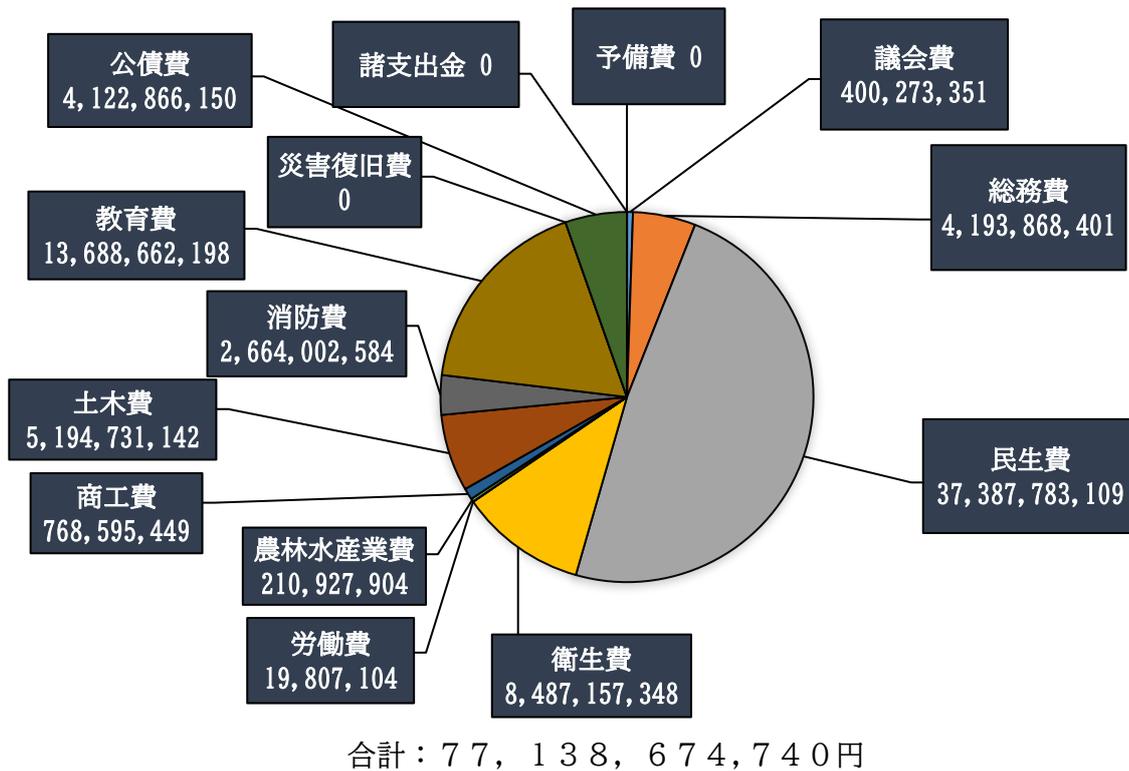
(2) 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、現状や背景を踏まえ、施策・事業の目標に対する実績を明らかにします。また、法に基づき、点検・評価の客観性を確保するため、学識経験を有する外部の方から御意見をいただき、これらをもとに、結果を取りまとめて議会に提出するとともに、公開します。

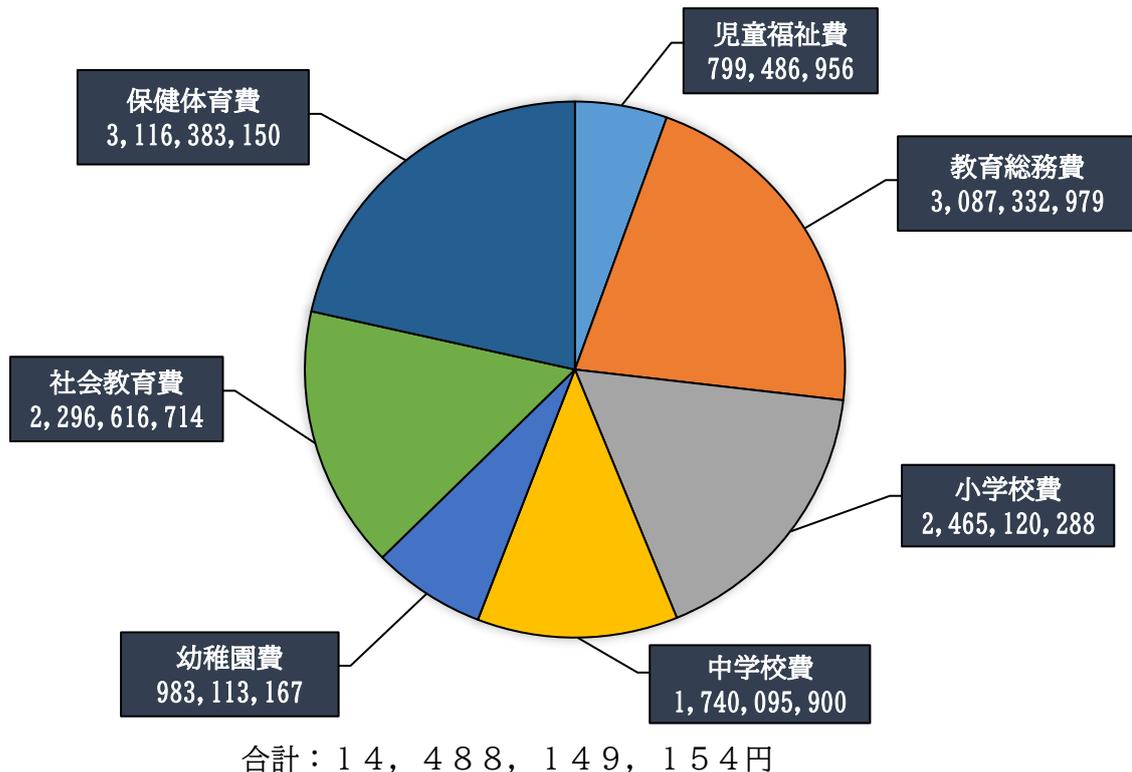
3. 流山市一般会計歳出決算見込みと教育委員会歳出決算見込み

単位：円

令和4年度流山市一般会計歳出決算見込み



教育委員会歳出決算見込み



※児童福祉費は民生費のうち学童保育に要する経費を記載

I 子ども・子育て

I-1 学童クラブの充実		主管課：教育総務課、学校施設課					
学童保育運営事業		就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	162,146	123,293		9,995	189,889	109,773	80,116
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
研修開催件数(件)	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数(人)	28,934	33,638	38,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)	26,992	50,983	80,545
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、支援員の質の向上に努めました。				・現状 学童クラブの利用者は増え続けており、今後も入所希望が増加すると考えられます。			
・評価 研修を通して、支援員の学童クラブ運営に対する知識や技術を深めることが出来ました。キャリアアップ処遇改善事業と臨時特例処遇改善事業により、職員の賃金改善を行うことが出来ました。				・課題 支援員が抱える現場の課題は多く、更なる研修の必要があります。また、支援員の安定的な確保のために、継続的な処遇改善に努める必要があります。			
・課題に対する改善点 研修内容について、事前に法人から要望を聞いたことで、効果的な研修を行うことが出来ました。				・取組 引き続き、支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に努めます。			
I-1 学童クラブの充実		主管課：教育総務課、学校施設課					
学童クラブ施設整備事業		児童数の増加に対応するため、令和6年4月に開校予定の市野谷小学校区及び南流山第二小学校区に学童クラブを創設します。また、ひよどり学童クラブの下水道設置工事を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
教育総務課	76,243	48,949		7,548	496,387	402,563	93,824
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,240	3,240	3,748	待機児童数(3月末)(人)	-	-	-
学童クラブの整備後の施設数(施設)	37	37	39				
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 令和6年度開所予定の学童クラブについて整備を行いました。(令和4年度から令和5年度の継続事業)				・現状 令和6年4月に開所予定の市野谷小学校区学童クラブ及び南流山第二小学校区学童クラブの整備が必要です。			
・評価 遅滞なく整備を進めることが出来ました。				・課題 学校施設の整備と同時に行うことから、各機関と調整をとりながら計画的に進めて行く必要があります。			
・課題に対する改善点 引き続き、令和6年度の開所に向けて整備を進めていきます。				・取組 各種工事を遅滞なく終わらせるとともに、学童クラブに必要な備品等を整備し、令和6年度の開所を迎えられるよう整備を進めていきます。			

I 子ども・子育て

I-2 青少年の健全育成の促進		主管課：生涯学習課					
青少年相談事業		青少年やその保護者が一人で悩むことがないように、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	5,253	5,202		3,843	5,411	0	5,411
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
相談件数(件)	57	55	-				
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 令和4年度は、より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、通常の相談(月～金曜日の平日)に加え、休日に特別相談窓口(計6日)を開設しました。また、相談窓口を広く周知するため、相談室だより「はなみずき」を新たに発行しました。				・現状 休日に特別相談窓口を開設するなど、新たな取り組みを行いましたが、相談件数の増加には結び付かなかったのが現状です。			
・評価 休日に特別相談窓口を開設し、相談機会の拡充に努めましたが、相談件数には結び付きませんでした。				・課題 より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じて、適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関との連携を強化する必要があります。			
・課題に対する改善点 市民に気軽に利用していただけるよう、相談室だより「はなみずき」や青少年指導センターだよりなどに青少年相談に関する記事を掲載し、相談窓口の更なる周知に努めます。				・取組 引き続き、学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。また、広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりなどを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めます。			

Ⅱ 学校教育

Ⅱ-1 確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校英語活動推進事業	小学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	65,039		64,355		0	65,415	0	65,415	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
小学校ALT配置数(人)	9	10	10	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるALT等の活用状況(%)			98	98	98
英語活動指導員の指導時間の合計(時間)	10,437	11,760	11,830						
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組				・現状					
外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手(ALT)の研修を年複数回実施しました。				毎回の授業の型が定まってきて、どの学校も授業の質が高まってきました。					
・評価				・課題					
英語活動指導員とALTが学級担任とよく連携し、工夫を凝らした授業、協働学習と個別最適化の学びの実現に向けて取り組みました。				授業の指導目標は提示されていますが、評価を行うことができていない。					
・課題に対する改善点				・取組					
学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語活動とICTの活用を踏まえた研修を充実させます。				指導と評価を一体化するために、授業訪問や研修会を通じて、課題を改善していきます。					

Ⅱ-1 確かな学力の育成 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。								
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
指導課	20,698		20,429		21,754	27,609	0	27,609	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標			R3実績	R4実績	R5目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.50	1.50	1.40	小学校図書貸出冊数(11月)(冊)			25,400	30,000	30,500
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み					
・取組				・現状					
学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、児童の読書活動を推進しました。				学校図書館司書の配置により、専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、児童の読書活動を推進しています。					
・評価				・課題					
学校図書館司書リーダーが新任司書を巡回し、指導・助言を行い、スキルアップを図りました。専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、児童の読書活動を推進しました。				さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の実用、学校図書館司書の増員を図る必要があります。					
・課題に対する改善点				・取組					
学校図書館リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。1校に1人の司書の配置に向け、研修していきます。				学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指します。探究的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。					

Ⅱ 学校教育

Ⅱ-1 確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部					
中学校A L T配置事業	外国語指導助手（A L T）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	40,319	40,623		0	41,256	0	41,256
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
中学校A L T配置数(人)	9.00	9.00	10.00	英語教育実施状況調査(文部科学省)におけるA L T等の活用状況(%)	61	62	70
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 学習指導要領における評価方法、ICTの活用における研修を充実させました。				・現状 タブレット端末の使用頻度が高まってきました。一方で、どこでICTを活用すると効果的なのか、生徒が英語を使う場面に適しているかを考える必要があります。			
・評価 タブレット端末やデジタル教科書を活用した授業展開が増えてきました。				・課題 英語を活用するという視点において、目的・場面・状況の設定をすることと、ICTの活用のタイミングはどこがよいのか、その評価をどのようにするのかという課題があります。			
・課題に対する改善点 生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。				・取組 英語を聞く、話すという取り組みを強化するとともに、授業訪問や研修会で改善をしていきたいです。			
Ⅱ-1 確かな学力の育成		主管課：教育総務部、学校教育部					
中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	14,995	14,530		14,068	17,741	0	17,741
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.80	1.70	1.40	中学校図書貸出冊数(11月)(冊)	19,468	25,000	26,000
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 学校図書館司書リーダーにより、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言を行いスキルアップを図り、生徒の読書活動を推進しました。				・現状 学校図書館司書の配置により、専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、生徒の読書活動を推進しています。			
・評価 学校図書館司書リーダーが新任司書を巡回し、指導・助言を行い、スキルアップを図りました。専門的な知見から、学校図書館教育を充実させ、生徒の読書活動を推進しました。				・課題 さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の実質、学校図書館司書の増員を図る必要があります。			
・課題に対する改善点 学校図書館司書リーダーが、経験の浅い学校図書館司書への指導・助言を行い、研修を充実させます。文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指します。探求的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。			

Ⅱ 学校教育

Ⅱ-1 確かな学力の育成		主管課：学校教育部					
教育研修推進事業		指導技術や専門的知識を学ぶ教職員研修等の充実を図ることにより、教職員の指導力の向上及び教育内容の質的向上を図る。様々な教育活動の運営をサポートします。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	749	462		6,382	801	0	801
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
研修実施回数(回)	3	7	8	研修参加人数(人)	126	138	154
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 講師を招聘して、新学習指導要領に対応した内容や今日的な教育課題に対応した研修を実施しました。				・現状 若年層の教職員が増加しており、学校へ求められる教育課題も多様化しています。			
・評価 今日的な教育課題に対応した研修を実施しました。昨年度よりも多くの教職員が参加し、資質・能力の向上を図ることができました。				・課題 今日的な教育課題として、ICTの効果的な活用や特別支援教育等が挙げられます。専門性の向上を図るために、若年層だけではなく、参加対象者を幅広く設定し、周知する必要があります。			
・課題に対する改善点 若年層の教職員が増加しているため、より一層、今日的な教育課題について、実践的な指導力が身に付けられるような研修を実施します。				・取組 若年層の教職員だけではなく、すべての教職員が参加できる体制としました。経験年数に関わらず、今日的な課題について演習・実習を柱とした研修を実施します。			

Ⅱ-1 確かな学力の育成		主管課：学校教育部					
学校サポート教員派遣研究事業		学校サポート教員(学習サポート教員、指導員、算数・数学学習指導員<現スクールアシスタント>)を各学校に配置し、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への個に応じた指導や、授業での個別支援や習熟度別学習の補助等のきめ細やかな指導を充実させます。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	176,117	162,889		128,854	211,909	0	211,909
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
学校サポート教員数(人)	78	82	115				
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 市内小中学校における、特別な支援を必要とする児童生徒の実態とニーズを把握し、状況に応じて学習サポート教員・指導員の配置を進めました。また、学校規模に応じて算数・数学学習指導員(現スクールアシスタント)を全校に配置しました。				・現状 市内小中学校における、特別な支援を必要とする児童生徒の実態とニーズを把握し、状況に応じて学習サポート教員・指導員の配置をしています。また、学校規模に応じてスクールアシスタント(旧算数・数学学習指導員)を全校に配置しています。			
・評価 学習サポート教員・指導員を配置することで、特別な支援を要する児童生徒にきめ細やかな対応をすることができました。算数・数学学習指導員を配置することで、算数や数学の学習において個に応じた支援をすることができました。				・課題 情報活用能力の向上などの今日的な教育課題に加え、学習指導要領で求められている個別最適な学びの実現をねらいとした児童生徒一人一人へのきめ細やかな対応の必要性が高まっています。また、本市では、急激な児童生徒数の増加やベテラン職員の退職に伴い、新規採用者や講師が増加しています。			
・課題に対する改善点 課題を踏まえ、算数・数学に特化せず広く児童生徒の指導支援を行うとともに多様化する教職員のサポートをする人員を配置します。				・取組 算数・数学に特化せず、広く児童生徒の指導支援を行うとともに多様化する教職員のサポートをする人員として、新たにスクールアシスタントの配置を行います。			

II 学校教育

II-1 確かな学力の育成

主管課：教育総務部、学校教育部

学校水泳指導等支援事業		児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	0	5,039		12,764	22,470	0	22,470
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
民間委託実施校数(校)	-	1.00	6.00	一人当たりの実施回数(回)	-	3	3
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 モデル校として10月に1校実施しました。				・現状 昨年度1校で実施したことが良い評価であったため、今年度は新たに5校追加して、6校で実施することとしました。			
・評価 児童からは、水泳授業がより充実した内容であったと高い評価を得ました。 教職員からは、施設管理面の運営負担が軽減されました。				・課題 令和6年度以降の事業拡大を見据えて、より多くの委託業者の開拓が必要であると考えます。			
・課題に対する改善点				・取組 学校施設課と連携し、できる限り学校から近い場所で実施可能な委託業者を増加させていきます。			

II 学校教育

II-2 教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

ICT学習空間整備事業	市内小中学校にコンピュータやインターネット環境を整備し、学習等で活用できるようにすることにより、社会の変化に対応した学校教育を推進します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	453,077		722,612		12,764	490,354	87,010	403,344
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	16,995	17,995	18,950	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		1	1	1
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 流山市GIGAスクール構想にもとづき、個別最適な学び、協働的な学びの推進のために、積極的に活用を進めました。多数の児童生徒が一齐に使用すると通信障害が発生していたことから、ネットワークの増強工事を実施しました。				・現状 児童生徒用タブレット端末整備率100%を維持するために、タブレット端末の保守管理・コールセンター(ヘルプデスク)管理・ICT支援員による教職員の支援等の事業の連携を図っています。				
・評価 1人1台端末を積極的に活用した学習を実施することができました。転入生への端末配付も滞りなく行うことができました。ネットワーク増強工事のおかげで、1,000人以上が同時に接続しても通信障害が起こることがなくなりました。				・課題 ・バッテリーが原因と思われる故障が増えてきています。 ・民間企業との業務委託契約が残り半分(2年半)となり、児童生徒数増に伴うタブレット端末の保守、管理について再考する必要があります。				
・課題に対する改善点 端末の活用が向上したことにより、情報活用能力の向上や情報モラルを高める必要が出てきました。教職員が学習や校務でのタブレット端末を活用するスキルの向上を図る研修機会の確保をしていく必要があります。				・取組 ・各校のICT教育推進リーダーに児童生徒の情報モラル向上を図るための研修会を実施します。 ・教職員の学習や校務で活用するためのスキルアップに係る研修を実施します。 ・タブレット端末の保守、管理についての計画を再考します。				

II-2 教育環境の整備 主管課：教育総務部、学校教育部

小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、教育環境の向上を図ります。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	106,666		647,275		6,382	107,559	107,559	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
長崎小学校エレベーター増設に係る設計業務の進捗率(%)	-	30	100	長崎小学校エレベーター整備基数(1基)		-	-	1
				ロッカー改修率(%)		-	-	12.80
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 経年劣化に対応した校舎等の改修に加え、おおたかの森小学校における火災復旧及び屋内運動場への空調機設置に着手しました。また、長崎小学校へのエレベーター増設によるバリアフリー化促進への設計業務を進めました。				・現状 長崎小学校へのエレベーター増築、教室ロッカーの改修及び設置工事を実施します。				
・評価 火災復旧につきましては年度内での対応を終えましたが、屋内運動場への空調機設置につきましては、年度を越えた対応となりました。				・課題 学校運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。				
・課題に対する改善点 屋内運動場への空調機設置につきましては、学校運営しながらの施工となるため学校との十分な調整が必要です。				・取組 発注者、施工者及び学校との協議により各種調整を実施します。				

II 学校教育

II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
中学校校舎等改修事業		中学校施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、教育環境の向上を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	78,760	380,944		6,382	99,969	99,969	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
東深井中学校エレベーター増設に係る設計業務の進捗率(%)	-	30	100	東深井中学校エレベーター整備基数(1基)	-	-	1
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 経年劣化に対応した校舎等の改修に加え、屋内運動場への空調機設置に着手しました。また、東深井中学校へのエレベーター増設によるバリアフリー化促進への設計業務を進めました。				・現状 東深井中学校へのエレベーター増築を実施します。			
・評価 屋内運動場への空調機設置につきましては、年度を越えた対応となりました。				・課題 学校運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。			
・課題に対する改善点 屋内運動場への空調機設置につきましては、学校運営しながらの施工となるため、学校との十分な調整が必要です。				・取組 発注者、施工者及び学校との協議により、各種調整を実施します。			

II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
給食室等改修事業		学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している部分を改修し、調理環境の向上を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	132,120	454,509		15,955	24,221	24,221	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
給食室への空調設備設置学校数	2	10	-	長崎小学校給食室建替え工事の進捗率(%)	5	100	-
				給食室への空調設備整備率(%)	47	100	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 全給食室及び調理場への空調機設置工事及び、長崎小学校給食室の建替え工事を完了させました。				・現状 給水給湯管の改修工事及び給排気ファン、給湯器、小荷物昇降機、グリストラップの更新工事を実施します。			
・評価 長崎小学校給食室建替えについて、令和5年度から供用開始することができました。				・課題 給食室の運営に支障がないよう、工事を進める必要があります。			
・課題に対する改善点 施工中に発生する不測の事態への冷静な判断が求められます。				・取組 発注者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。			

II 学校教育

II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
新設小学校（おおたかの森地区）建設事業		おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に市野谷小学校の建設を進めます。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	1,297,102	603,600		25,528	3,730,076	3,730,076	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)	37	100	-
				工事の進捗率(%)	-	11.50	100.00
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 設計業務委託者と協議をし、進捗状況を管理しました。				・現状 令和6年4月開校に向け、工事を進めていきます。			
・評価 工事発注にあたり、実施設計を遅滞なく進めることができました。				・課題 令和6年4月開校に間に合うよう工事を実施します。			
・課題に対する改善点 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行います。			
II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
南流山中学校移転事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転して、令和6年4月から中学校として供用するための整備を進めます。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	369,095	238,459		15,149	2,788,758	2,788,758	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)	27	100	-
				工事の進捗率(%)	-	0.29	100.00
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 設計業務委託者と協議し、進捗状況を管理しました。				・現状 大学校として供用されていた施設を中学校仕様に改造する必要があります。			
・評価 工事発注にあたり、実施設計を遅滞なく進めることができました。				・課題 令和6年4月開校に間に合うよう工事を実施します。			
・課題に対する改善点 工事の発注に支障がないよう、実施設計の策定が必要です。				・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行います。			

II 学校教育

II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
新設小学校（南流山地区）改修事業		南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校するための整備を進めます。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	16,991	11,011		6,382	145,953	145,953	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				設計業務の進捗率(%)	-	100	-
				改修工事の進捗率(%)	-	-	100
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 設計業務が完了し、工事の発注を行いました。				・現状 改修工事を施工しています。			
・評価 計画通り工事発注することができました。				・課題 中学校を運営しながらの施工となるため、生徒・教職員の安全の担保が重要です。			
・課題に対する改善点 設計業務委託者との連絡及び調整を密に行い、よりスケジュールに余裕をもつことが必要です。				・取組 作業エリアには遮音性のある仮間仕切りを設置し、生徒・教職員と工事関係者が交錯しないよう努めます。			
II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
担任サポート教員配置事業		学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校教育課	49,669	37,746		3,832	27,571	0	27,571
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
担任サポート教員配置数(人)	12	12	9				
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。				・現状 令和4年度当初、令和5年度は12名の配置を予定しておりましたが、児童生徒数が推計値より少なかったため、9名の配置となりました。			
・評価 適正な配置人数である12名を確保しました。				・課題 令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。			
・課題に対する改善点 当初16名の配置を予定しておりましたが、児童生徒数が推計値より少なかったため4名の配置が必要なくなりました。				・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。			

II 学校教育

II-2 教育環境の整備		主管課：教育総務部、学校教育部					
南流山中学校移転先用地・建物買取事業		南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校施設課	582,384	575,107		6,382	901,727	901,727	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				用地取得率(%)	-	-	-
				建物取得率(%)	31	59	100
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理しました。				・現状 中学校移転のため、建物を取得します。			
・評価 財産活用課と情報を共有し進めることができました。				・課題 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。			
・課題に対する改善点 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。				・取組 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。			

II 学校教育

II-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

主管課：教育総務部、学校教育部

子ども専用いじめホットライン相談事業		いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	7,330	7,934		4,433	8,173	0	8,173
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	15	17	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	84.9	90.9	100.0
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	29	52	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	93.9	95.6	100.0
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 子ども専用いじめホットライン相談窓口周知のために、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配布しました。中学生は、いじめ報告相談アプリも加え、悩みの早期発見と早期対応に努めました。				・現状 生涯学習センター内に3名の相談員が常駐し、相談を受けています。コロナ禍により、相談のニーズも多様化しており、いじめ相談だけでなく、子どもの悩みごとの相談に幅広く対応しています。			
・評価 コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し、相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き相談窓口の周知に努めていきます。				・課題 コロナ禍により人間関係が希薄化し、相談も多様化しています。そこで、いじめだけに特化せず、幅広く相談を受ける必要があります。			
・課題に対する改善点 いじめ相談窓口の更なる周知徹底を図り、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるよう努めました。				・取組 令和4年度より名称を「小中学生なやみホットライン」に変更し、子ども達の悩みの相談を幅広く受ける体制を構築しています。令和5年度もひきつづき、ポスターやリーフレットを作成して、子どもたちへの周知を図っていきます。			

II-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

主管課：教育総務部、学校教育部

いじめ等防止対策推進事業		いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーQ U(学級集団アセスメント)検査を実施します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	23,240	24,181		8,689	30,763	0	30,763
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
小学校いじめ認知件数(2月(R4年度は3月集計))(件)	5,765	4,954	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	84.9	90.9	100.0
中学校いじめ認知件数(2月(R4年度は3月集計))(件)	594	475	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)	93.9	95.6	100.0
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめや虐待などに迅速に対応しました。				・現状 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、指導主事に加え、令和5年度から新たに生活指導アドバイザーをいじめ防止相談対策室に配置し、学校や関係機関と連携し、いじめ防止、児童生徒の問題行動、虐待等へ対応していきます。			
・評価 児童生徒向けのいじめ授業や教員向けのいじめ防止授業を実施するなど、いじめに対する理解を深めました。				・課題 いじめの未然防止、早期発見・早期解決につなげるためには、児童生徒への指導と、教員による適切な対応が必要です。			
・課題に対する改善点 小学校、中学校において、スクールロイヤーによる訪問授業及び教員研修を計画的に実施しました。				・取組 スクールロイヤー等によるいじめ防止に向けた教員への研修を行います。また、保護者及び児童へのいじめ防止対策を継続して実施します。			

II 学校教育

II-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

主管課：教育総務部、学校教育部

学校給食公会計化事業		小中学校の学校給食費を学校ごとで管理する私会計方式から、市の予算に計上して管理、運用を行う公会計方式に切り替え、学校給食費会計の透明性、公平性の確保及び学校職員の負担軽減を図ります。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校教育課	979,827		1,040,601		14,875	1,012,078	950,411	61,667
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
-	-	-	-	-		-	-	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の実績・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症等による物価高騰の影響があり、市独自に物価高騰分を負担した他、県事業と連携した第3子給食費無料化などに取組みました。				・現状 現在、納付率は約99%と極めて高い状態です。				
・評価 物価高騰による子育て世帯の負担軽減に柔軟に取組みました。				・課題 日中、多忙な保護者等の支払いに係る利便性の向上を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 公平な負担となるよう、未納となっている保護者等の理解が得られるよう努める必要があります。				・取組 コンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行いました。				

II-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

主管課：教育総務部、学校教育部

学校サポート看護師派遣事業		小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
学校教育課	23,146		20,450		4,880	22,737	890	21,847
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	11	医療的ケア児の対応時間(時間)		2,245.25	1,614.00	2,350.00
医療的ケア児の人数(人)	5	6	6					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の実績・課題・取組み				
・取組 医療的ケア児についての情報や対応等について、サポート看護師が共有し、研鑽を積めるよう、連絡協議会や研修会を開催しました。				・現状 障害のある子どもの教育的ニーズに対し、多様な関係者が多角的、客観的に参画しながら就学を始めとする必要な支援に取り組む必要があります。				
・評価 医療的ケア児が安心・安全に就学できる環境を確保できました。				・課題 様々な悩みを抱えた医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるような教育体制の拡充に努めます。				
・課題に対する改善点 短時間利用等、医療的ケア児個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるよう、様々な関係者の協力のもと、教育体制の拡充に努めました。				・取組 短時間ケアにも対応できるよう環境整備に努め、保護者負担軽減をはかります。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ-4 特別支援教育、教育相談の充実・構築

主管課：学校教育部

特別支援教育推進事業	特別な支援が必要な児童生徒に対して継続的に関係機関と連携して支援を行います。教師一人ひとりが特別支援教育への理解を深め、よりよい支援ができるように研修の充実を図ります。（知的・情緒・言語・難聴・特別支援コーディネーター等）就学前児、就学児（小中）を対象に相談を受け、保護者や本人の意向及び心理士による専門的な見立てを基に、適切な就学先の提供に努めます。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	8,985		8,623		22,989	10,410	0	10,410
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
就学相談件数(件)	413	401	400	特別支援教育研修対象者(延べ人数)		123	134	150
特別支援教育研修回数(回)	13	13	13					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和4年度より市教育委員会主催の就学説明会を行い、未就学児や小学6年生に対して特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室や就学相談の流れを説明しました。大学教授や特別支援学校のコーディネーターや言語聴覚士など、様々な分野の講師を招聘し、それぞれの障害種に適した研修を実施しました。				・現状 就学説明会を4月・5月の2回実施します。今年度より特別支援スーパーバイザーを市独自で雇用し各学校を巡回して支援していきます。				
・評価 就学説明会を行うことで、保護者に就学相談の見通しをもってもらうことができました。面談を丁寧に行っていくことで、保護者や本人が希望する就学先への進学や転級を実現することができました。				・課題 特別支援学級の増加により、特別支援教育の経験が浅い教員や、若手の教員が増えているため、専門性を向上することが必要です。				
・課題に対する改善点 就学相談を円滑に進めていくために、カウンセラーの雇用人数を増やすことで、改善につなげます。専門性の高い講師を招聘することで、教員の専門性の向上に努めます。				・取組 特別支援教育の専門性向上につながる研修をより多くの教員が受講できるように、オンライン形式で実施したり、夏季休業中に実施したりすることで、特別支援教育を推進していきます。				

Ⅱ-4 特別支援教育、教育相談の充実・構築

主管課：学校教育部

教育研究企画室運営管理事業	教育相談窓口、教育支援センターを開設し、相談員や指導員、スクールカウンセラーによる児童生徒の心のケアを図ります。また、不登校児童生徒の学習・生活への適応指導、生活指導等のコーディネートを行い、児童生徒の社会的自立に向けた支援をします。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	34,862		35,099		35,678	43,568	0	43,568
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
相談件数(件)	2,034	1,902	2,100	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)(人)		52	86	100
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 心理士による教育相談を行い、児童生徒や保護者が抱える不登校等の悩みに寄り添った対応を進め、個々の状況の改善を目指します。また、教育支援センターフレンドステーションを運営し、学習指導や生活指導を通し、社会的自立を目指します。				・現状 教育相談件数は令和3年度、令和4年度を上回っています。また、教育支援センターの見学体験者数も増えています。				
・評価 教育相談では、学校や関係機関と連携を図りながら児童生徒の情報を共有し、個々に応じた指導や支援を進めました。教育支援センターフレンドステーションでは、新たにフレンドステーションしんかわを増設し、不登校児童生徒の居場所の拡充を行いました。				・課題 保護者の不安を解消するため、相談の依頼を受けてから、速やかに初回の相談につなげる必要があります。また、不登校児童生徒の居場所として、教育支援センターフレンドステーションや民間施設等、児童生徒一人ひとりの学習・生活の場の増加が必要です。不登校児童生徒数の増加に伴い、教育支援センターの人員増加や民間施設との連携の在り方を進めていきます。				
・課題に対する改善点 パンフレットや研修を通して、教育相談窓口の周知徹底を図りました。また多様化する相談に迅速かつ丁寧に対応することができるよう、スクールカウンセラーの増員と配置時間を増加しました。				・取組 スクールカウンセラーを増員し、速やかに初回の相談につなぐことができるよう、保護者と日程調整を行っています。また、不登校の児童生徒の居場所の充実のため、近隣の民間施設の情報を集約しています。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ-5 つながりのある教育		主管課：学校教育部						
地域による学校支援事業		中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	7,947		6,961		5,106	8,283	4,988	3,295
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
市内各中学校区本部設置数(校)	9	9	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		51,603	51,705	65,000
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校支援コーディネーターのサポートとコミュニティ・スクール導入の推進に取り組んでいきます。				・現状 学校支援コーディネーターが各校で積極的な取り組みを見せています。コーディネーター同士の情報共有もよく行われています。				
・評価 学校支援コーディネーターの尽力で、地域の人材を活用し、開かれた学校作りを進めています。				・課題 コミュニティ・スクールを新たに導入することと、その運営方法を確立していくことです。				
・課題に対する改善点 令和4年度は新たに2中学校区でコミュニティ・スクールの導入が予定されているので、協働活動との連携を推進していくことが課題です。				・取組 学校訪問や研修会を通して、各校の実態を把握して、さらなる改善に努めていきます。				

Ⅱ-5 つながりのある教育		主管課：学校教育部						
流山市部活動支援事業		「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をもとに、部活動指導員を配置し、部活動の更なる活性化と教職員の働き方改革を図ります。						
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	12,056		11,473		6,382	19,976	0	19,976
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
中学校に部活動指導員を配置(部活数)	12	24	40					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 市内中学校6校の4部活動に外部指導員を配置しました。学校と顧問と外部指導員が密に連携をとり、活動状況を把握することが生徒の成長につながっています。また部活動指導者にむけて、指導力向上研修会を行いました。				・現状 令和5年度は、さらにその規模を拡大し、市内10校の4部活動に外部指導員を配置しています。学校と顧問と外部指導員が連携をして、より充実した部活動を行うことができています。				
・評価 年度末のアンケートによると、今まで部活動指導に充てていた時間を授業準備の時間とすることができた、専門的な知識・技術を持っている外部指導員の指導により、生徒の技術が向上した、複数で部活動を見られるので、一人ひとりの生徒と向き合うことができるようになったという意見が挙げられました。				・課題 学校規模が増えたことで、より多くの外部指導員が必要となりました。5月からの配置となったため、学校としては希望した部活動の顧問と連携をし、すみやかに実施をしたいという意向がありました。中学校3年生にとっては、7月が最後の大会となるので、継続して指導を望む声も挙がっています。				
・課題に対する改善点 今後、より多くの中学校に配置することで、さらに多くの生徒が専門的な知識・技術を持っている外部指導員の指導を受けられるようになります。その分、学校や教員との連携を密にすることを大切にし、教員の働き方改革につながるよう、事業を推し進めていきます。				・取組 年度末に各校から指導者についてのヒアリングを行い、4月以降も継続を希望するかどうかを確認しておきます。また契約の方法も考えていく必要があります。				

Ⅱ 学校教育

Ⅱ-5 つながりのある教育

主管課：学校教育部

幼児教育支援センター 運営事業	保幼小関連教育研究会を実施し、幼児教育から学校教育への円滑な移行を支援します。また、就学前の子供を持つ保護者や教職員を対象とした電話、来所、巡回相談等、幼児教育相談を実施し、関連機関との連携を図りながら、就学前教育を推進します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
指導課	8,411		7,546		6,382	8,566	0	8,566
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
保幼小関連教育研究会開催回数(回)	3	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数(人)		214	276	280
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 年間3回の保幼小関連教育研究会や巡回相談、電話や来所による相談を実施しました。				・現状 円滑な接続を図っていけるよう、保幼小関連教育研究会を引き続き年間3回実施すると共に、小学校見学会・保幼見学会を実施し、幼児教育・小学校教育の相互理解を深めます。また、巡回相談や来所、電話相談を行っています。				
・評価 気になる子どもへのかかわり方や、子どもの学びをつなげる連携・接続の在り方について、大学教授等の専門家を招聘し、園種や公私を超えて先生たち同士が学び合うことができました。				・課題 幼児教育から学校教育への円滑な移行を目指すために、保幼小関連教育研究会に参加している先生方だけでなく、より多くの先生方が接続期の教育の在り方について理解を深める必要があります。				
・課題に対する改善点 幼稚園、保育所(園)、こども園、小学校との接続について、職員同士の連携を深めていくために、グループ協議をしたり小学校見学会や保幼見学会を通じて実際の指導・保育場面を見合ったりしながら、相互の理解を深めていきます。				・取組 今年度は、接続期教育の重要性や幼児教育支援センターでの取組みについて、お便り等を通じて広く周知していきます。また、子どもの学びをより深く充実させる保幼小の連携や在り方について、研修会等で情報を発信してまいります。				

Ⅲ生涯学習

Ⅲ-1 多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業		夏休み期間中、保護者が日中働いている小学生に対して、学校施設の一部を使用して体験学習などを行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	3,228	2,837		4,301	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
募集定員(人)	100	100	-	参加延べ人数(人)	97	73	-
イベント回数(件)	34	42	-				
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 「夏休み子ども教室」事業を7月21日から8月30日まで(土・日曜、祝日、8月12日・15日を除く)の26日間、小山小学校と南流山小学校の2校で、各校50人の定員で実施しました。				・現状 令和4年度で事業は終了しました。			
・評価 夏休みの宿題や読書の時間のほか、多彩なイベントや幅広い学習プログラムを実施し、参加した子ども達からは「とても楽しかった」と好評でした。				・課題 令和4年度で事業は終了しました。			
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応を取りつつ、事業を実施しました。				・取組 令和4年度で事業は終了しました。			

Ⅲ-1 多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

図書館資料購入事業		図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
図書館	39,320	39,303		34,295	40,422	0	40,422
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
図書購入冊数(冊)	26,054	14,009	15,354	蔵書冊数(冊)	520,950	524,047	527,401
視聴覚資料購入点数(点)	502	463	370	貸出点数(月平均)(点)	97,865	95,699	105,268
令和4年度の取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 資料の利用状況をきめ細かく把握しながら計画的に購入しました。				・現状 引き続き図書館が所蔵すべき資料を計画的に購入します。			
・評価 図書、電子書籍、雑誌、視聴覚資料のバランスを取りながら、幅広い分野の資料を購入しました。				・課題 令和4年12月に開館したサンコーテクノプラザ南流山地域図書館の資料を充実させる必要があります。			
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症の影響により図書館に来館できない方も多いため、自宅でも読書を楽しめる電子書籍の所蔵点数を増やしました。				・取組 サンコーテクノプラザ南流山地域図書館で所蔵する資料の拡充に取り組めます。特に、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童書の充実を図ります。			

Ⅲ生涯学習

Ⅲ-1 多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

おおたかの森こども図書館資料充実事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
図書館	1,050		1,025		8,767	2,806	0	2,806
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
ブックセット設置施設数(施設)	14	14	60	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)		15,648	16,570	17,657
ブックセット設置冊数(冊数)	924	922	2,430					
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 市内に新設された子育て関連施設にブックセットを設置しました。また、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、配慮を必要とする子どもへの取組の一環として、障害児通所支援事業所も設置対象としました。				・現状 子どもの読書活動を推進し、子どもを取り巻く読書環境の整備を継続的に支援していくため、ニーズに合った長期的な事業のあり方について検討する必要があります。				
・評価 市内に新設された保育園9施設、小規模保育室2施設、児童センター1施設と障害児通所支援事業所2施設にブックセットを設置し、子どもが様々な絵本に親しめる環境づくりを支援しました。				・課題 ブックセットを設置済みの子育て関連施設に対する支援をどのように継続していくかが課題です。				
・課題に対する改善点 ブックセットを既に設置した子育て関連施設を対象にアンケートを実施した結果、子どもの読書環境の整備に対する継続的な支援を求める要望が多かったため、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置する予算を計上しました。				・取組 新設の子育て関連施設や障害児通所支援事業所にブックセットを設置するほか、令和2年度に実施したブックセット第2便を未設置の子育て関連施設に設置します。				

Ⅲ生涯学習

Ⅲ-2生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
南流山地域図書館整備事業		令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に整備する子育て支援施設（子育て世代活動支援センター及び児童センター）との複合施設として、南流山地域図書館を整備します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
図書館	324,015	960,808		19,097	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(%)	67	100	-				
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 工事監理者及びファシリティマネジメント室と連携し、南流山地域図書館の整備を行いました。また、本事業に合わせて南流山図書ピックアップセンターの開設準備を行いました。				・現状 令和4年度で事業は終了しました。			
・評価 計画的に工事を進め、予定どおりサンコーテクノプラザ南流山地域図書館を開館することができました。加えて、南流山図書ピックアップセンターの開設準備を進め、南流山分館に代わり、地域住民や利用者に、資料・設備ともにより質の高い図書館サービスを提供することができました。				・課題 令和4年度で事業は終了しました。			
・課題に対する改善点 南流山中学校での部活動に伴うボール等による施設の破損事故を防ぐため、防球ネットを設置しました。				・取組 令和4年度で事業は終了しました。			

Ⅲ-2生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
文化会館施設整備事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、文化会館の修繕・改修を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	2,800	2,300		5,334	128,992	109,100	19,892
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(特定天井改修設計業務委託)(%)	-	100	-	稼働率(市民会館)(%)利用日数/開館日数	50	50	50
工事進捗率(改修工事)(%)	-	-	100	利用者アンケート調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)	44	47	50
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 ホール特定天井の脱落防止のため、改修に伴う設計業務委託を実施しました。				・現状 経年劣化等により破損や老朽化が見られるため、修繕が必要になっています。			
・評価 遅滞なく実施しました。				・課題 施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めていく必要があります。			
・課題に対する改善点 利用者の安全確保と利便性向上のため、計画的な改修工事の実施が必要となります。				・取組 施設の安全かつ適正な維持管理を図るため、特定天井改修工事、舞台床張替工事、排水設備改修工事及び市民会館棟外壁改修工事を実施し、施設環境の整備に取り組みます。			

Ⅲ生涯学習

Ⅲ-2 生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

中央図書館改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するために、中央図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
図書館	1,550	0	14,875	703	0	703	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(%)	100	-	100				
令和4年度の実績と評価・改善点			令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新については、市が機器を購入し、工事を発注する従来方式ではなく、リース契約による更新とする方針を決めました。			・現状 開館して45年経過しており、建築物や設備が老朽化しています。				
・評価 自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新について、設計・設置・管理・保守まで含めたリース契約とすることとし、施設の適切な管理に向けて取り組むことができました。			・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。				
・課題に対する改善点 老朽化が進んだ設備の更新に向けて、リース契約を含む効果的な方式を取り入れることで、施設の機能や性能の向上に資することができました。			・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。非常用照明の更新を実施します。				

Ⅲ-2 生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館

南流山センター施設整備改修事業	利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、南流山センターの修繕・改修を行います。						
担当課	R4当初予算	R4決算見込	R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源	
公民館	70,106	68,804	4,306	2,000	0	2,000	
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(内装改修)(%)	-	100	-	稼働率(%) 利用日数/開館日数	74	74	75
工事進捗率(エレベーター更新工事設計業務委託)(%)	-	-	100	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)	57	51	55
令和4年度の実績と評価・改善点			令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和3年度の設計を基に南流山センター内装改修を実施しました。改装に伴い、一部の備品を更新、整備しました。また、屋上防水及び外壁改修工事を実施しました。			・現状 南流山センター内のエレベーターは、今後、修理等のための部品調達が困難となる見込みであるため更新工事が必要となります。				
・評価 安全に遅滞なく整備することができました。			・課題 施設の長寿命化のため、安全に配慮し計画的に改修工事を進めて行く必要があります。				
・課題に対する改善点 工事期間中の施設使用者の安全対策を行う必要があります。また、施工業者が安全対策及び新型コロナウイルス感染症対策を徹底するよう指導する必要があります。			・取組 令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行います。				

Ⅲ生涯学習

Ⅲ-2 生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
生涯学習センター 整備充実事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、生涯学習センターの修繕・改修を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	10,348	8,920		3,191	9,150	0	9,150
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(%)	100	100	100				
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 館内の非常用照明147台のうち、経年劣化が見られる104台分を更新、13台分を新設しました。				・現状 施設全体に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。			
・評価 非常時の安全性を確保することができました。				・課題 安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るため、計画的に修繕を行う必要があります。			
・課題に対する改善点 利用者に大きな御不便をかけることなく、工事を実施できました。				・取組 体育館及びA館1階の演習室の床について、一部張替え等の修繕工事を行います。また、令和6年度のエレベーター更新工事に向け、設計業務委託を行います。			

Ⅲ-2 生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
博物館改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、博物館の修繕・改修を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	1,550	0		6,382	567	0	567
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新については、市が機器を購入し、工事を発注する従来方式ではなく、リース契約による更新とする方針を決めました。				・現状 開館して45年経過しており、建築物や設備が老朽化しています。			
・評価 自動火災報知設備及び非常用放送設備の更新について、設計・設置・管理・保守まで含めたリース契約とすることとし、施設の適切な管理に向けて取り組むことができました。				・課題 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に戻すだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げる必要があります。			
・課題に対する改善点 老朽化が進んだ設備の更新に向けて、リース契約を含む効果的な方式を取り入れることで、施設の機能や性能の向上に資することができました。				・取組 緊急性のあるものを優先し、計画的な修繕及び改修を実施します。非常用照明の更新を実施します。			

Ⅲ生涯学習

Ⅲ-2 生涯学習の環境整備		主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館					
文化会館非常用発電装置更新事業		発電機の回転整流器の絶縁不良があったため、設備の更新工事等を行います。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
公民館	46,084	39,651		0	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
工事進捗率(設計業務)(%)	100	-	-	稼働率(市民会館)(%)利用日数/開館日数	50	50	50
工事進捗率(更新)(%)	-	100	-	利用者アンケート調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)	44	47	50
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 非常用予備発電装置の更新工事及び工事監理業務を実施しました。				・現状 令和4年度で事業は終了しました。			
・評価 遅滞なく実施することができました。				・課題 令和4年度で事業は終了しました。			
・課題に対する改善点 施工業者が安全対策及び感染症対策を徹底し工事を実施できました。				・取組 令和4年度で事業は終了しました。			

IV文化芸術・歴史

IV-1 市民主体の文化芸術活動の促進 主管課：生涯学習課

文化祭開催事業	市内の文化芸術団体の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	1,300		1,300		1,915	1,300	0	1,300
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
イベント実施数(回)	17	23	23	延べ観覧者数(人)		3,471	5,665	6,000
令和4年度 of 取組みと評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 10月22日に開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、公民館や生涯学習センターを会場に、11月22日まで各団体による展示や発表を実施しました。				・現状 令和4年度は観覧者数がコロナ禍前の水準に戻りましたが、文化祭が市民の文化芸術活動の集大成として広く認知されるよう、若い世代への周知及び来場者数の増加を目指しています。				
・評価 オープニングセレモニー・イベントでは、参加型のワークショップや展示・発表に多くの方に来場いただきました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止を決定したイベントもありましたが、感染症対策を徹底した上で通常に近い形で各事業を開催することができました。				・課題 例年会場のひとつとしている文化会館が改修工事で使用できないため、運用については検討が必要です。				
・課題に対する改善点 引き続き、演者(実行委員会)の高齢化が課題ですが、令和4年度新たな団体が加入。夏休みを利用した事前のワークショップに市内の小学生を募集し、当日の発表に参加していただくなど、若い世代へ参加の幅を広げていく取組を行いました。				・取組 オープニングイベントの内容が固定化しないよう実行委員会に求め、一層の来場者の増加を図ります。				

IV文化芸術・歴史

IV-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実 主管課：生涯学習課、公民館

一茶双樹記念館及び杜のアトリ工黎明改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した一茶双樹記念館・杜のアトリ工黎明の改修を進めます。 令和3年度 障子、襖修繕（双樹亭）等 令和4年度 経年補修工事（一茶庵、杜のアトリ工黎明）							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	1,492		1,338		6,382	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
-	-	-	-	-		-	-	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 一茶双樹記念館は、車椅子利用者に配慮した庭園改修を行いました。				・現状 令和5年度は事業の実施がありません。				
・評価 一茶双樹記念館の庭園通路のバリアフリー化及び防犯対策を図りました。				・課題 令和5年度は事業の実施がありません。				
・課題に対する改善点 車椅子利用者が中庭まで入れないため、改修をしました。また、不審者の侵入予防や事件・事故が発生した際の原因究明等に資するため防犯カメラを購入しました。				・取組 令和5年度は事業の実施がありません。				

IV-2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実 主管課：生涯学習課、公民館

国際室内楽音楽祭共催事業	スタートおおたかの森ホールで開催される「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」を共催します。							
担当課	R4当初予算		R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
生涯学習課	3,000		3,000		638	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標		R3実績	R4実績	R5目標
				3日間の延べ来場者数(人)		-	782	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み				
・取組 5月3日から5月5日までの3日間、スタートおおたかの森ホールで開催された「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2022」を共催し、事業費の一部を負担しました。				・現状 令和5年度は、「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」の開催予定はありません。				
・評価 3日間で延べ782人の来場者に、国内外の世界的音楽家による質の高い演奏をお楽しみいただきました。				・課題 令和5年度は、「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」の開催予定はありません。				
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症への対策を徹底しながら、予定どおり開催することができました。				・取組 令和5年度は、「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭」の開催予定はありません。				

IV文化芸術・歴史

IV-3 歴史的文化的遺産の保存・活用 主管課：図書館、博物館

指定等文化財保存活用整備事業		市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	1,867	10,000		3,191	47,542	45,700	1,842
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				現地見学会の参加人数(人)	-	42	100
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事の契約を締結し、保存修復工事を進めました。				・現状 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の外観部の保存修復工事を進めていきます。			
・評価 工事前の建物の現状についての見学会を開催し、文化財への関心を高めました。				・課題 保存修復工事の修理箇所追加が発生する可能性があります。建物内部修復に向けた設計変更を行います。			
・課題に対する改善点 解体・修復時に修理箇所追加が発生する可能性があります。				・取組 保存修復工事内容を周知するための見学会を行っていきます。			

IV-3 歴史的文化的遺産の保存・活用 主管課：図書館、博物館

埋蔵文化財整理室及び収蔵庫整備事業		市内各所にある埋蔵文化財関連施設を鰯ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）へ集約し、一元的な管理を行います。また、出土遺物・資料の公開を行うため、埋蔵文化財・収蔵・展示施設を開設します。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
博物館	2,087	350		2,137	30,147	0	30,147
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				埋蔵文化財整理室・収蔵庫の移転数	-	10	20
				鰯ヶ崎整理室の修繕・工事進捗率	-	-	50
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 八木南小学校内埋蔵文化財整理室1室分の移転を実施しました。				・現状 八木南小学校埋蔵文化財整理室2室を鰯ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）への移転を行います。			
・評価 通常業務に影響なく実施することができました。				・課題 市内各所の埋蔵文化財整理室・収蔵庫からの移転を行いながら、施設の修繕・工事の実施が必要となります。			
・課題に対する改善点 整理室・収蔵施設の移転を計画的に進めていきます。				・取組 令和6年まで流山北小学校・加整理室等の鰯ヶ崎整理・収蔵施設への移転業務委託及び建物の修繕・工事を継続して実施します。			

Vスポーツ

V-1 スポーツ活動の促進		主管課：スポーツ振興課					
スポーツ講習会・大会開催事業		スポーツ講習会や大会を通じてスポーツ活動の機会を拡充する					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
スポーツ振興課	17,421	17,174		14,045	24,758	0	24,758
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				流山ロードレース大会参加者数	-	1,658	2,500
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 ロードレース大会については、3年ぶりに実走方式で開催することができました。				・現状 ロードレース大会では、新型コロナが5月8日から感染症法上の第5類に移行することから前年ほどの感染対策は不要となります。			
・評価 大会参加者のコロナ対策を厳重に行い実施しましたが、近くの他のレースと日程が近接したことから以前に比べ参加者数が減ってしまいました。				・課題 新型コロナによる落ち込みを回復させるため、より多くの参加者を募ることが必要となります。			
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症対策として参加者に大会日前2週間の体調管理チェックシートを義務付け受付時に提出していただくなどの対策を図りました。				・取組 今年度は気軽に参加できるファンランを導入し、参加費用についても見直しを図っていきます。また、う回路員については、ボランティアを廃止し業務委託としトラブルの防止を図ります。			

V-1 スポーツ活動の促進		主管課：スポーツ振興課					
トップアスリート交流事業		令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあたり、女子ハンドボールやパラ卓球をはじめとするオランダ代表チームの事前キャンプを受け入れました。事前キャンプにあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、実施可能な交流事業を工夫して実施しました。令和4年度以降についても、トップアスリートとの交流を継続し、息の長いスポーツ振興に努めていきます。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
スポーツ振興課	1,000	1,254		1,276	0	0	0
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				交流事業の参加者数(人)	500	130	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 本市ゆかりのオリンピック・パラリンピアンと市民との交流を継続し、今後の長期的なスポーツ振興を図っていきます。				・現状 令和5年度から指定管理事業者が自主事業として実施していきます。			
・評価 東京2020オリンピックに出場した本市出身の水泳の寺村美穂氏を講師に迎え、水泳教室及び講演会を実施しました。参加された方々からは、「貴重な体験ができた」「オリンピックの生の声が聞けて楽しかった」等の評価を受けました。				・課題 令和5年度から指定管理事業者が自主事業として実施していきます。			
・課題に対する改善点 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として醸成されたスポーツ振興の機運を、長期的なスポーツ振興につなげていくことが課題です。				・取組 令和5年度から指定管理事業者が自主事業として実施していきます。			

V スポーツ

V-2 スポーツ環境の整備		主管課：スポーツ振興課					
体育施設改修・整備事業		総合運動公園庭球場拡張整備工事、総合運動公園庭球場照明LED化工事を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
スポーツ振興課	308,254	164,840		26,809	224,308	222,200	2,108
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				屋内外体育施設利用者実数(人)	630,432	748,628	-
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 滞りなく、計画通りに工事等が進捗するよう各関係者と調整を図り、スポーツ施設の市民サービス向上に努めました。				・現状 人口増加に伴い市内のテニス利用者も増加しており、人気スポーツであるテニスコートの拡張整備が必要であり、令和5年度内に既設8面あるコートを12面に増設する工事を行います。			
・評価 総合運動公園野球場改修等工事を実施し、市民要望であった観覧場が設置されました。しかしながら、東部市民プールの解体・駐車場整備工事が未完成となっていますので、引き続き5月中の完成を目指します。				・課題 屋外にあるテニスコートには雨除けとしての設備がなく突発的な降雨に対応できないことから、利便性向上のため屋根等の設備が求められています。			
・課題に対する改善点 新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ施設を運営し、提供します。				・取組 市民サービス向上に努めるとともに、施設の改修・整備を計画的に進め、安全・安心なスポーツ環境を利用者に提供します。			

V-2 スポーツ環境の整備		主管課：スポーツ振興課					
体育施設備品等整備事業		施設備品の適正な維持管理をするとともに、体育施設利用者のスポーツに対する熱意の向上と安全性の確保を図るため、必要な備品等を整備するもの。					
担当課	R4当初予算	R4決算見込		R4職員給与費(目安)	R5当初予算	R5特定財源	R5一般財源
スポーツ振興課	1,236	1,154		26,809	4,419	0	4,419
主な活動指標	R3実績	R4実績	R5目標(予定)	主な成果指標	R3実績	R4実績	R5目標
				屋外型AED収納ボックス設置校数	-	-	28
令和4年度の実績と評価・改善点				令和5年度の現状・課題・取組み			
・取組 総合運動公園野球場改修工事に合わせて野球備品を更新・新調しました。また、総合運動公園の再整備に伴い、不要となる倉庫を撤去・解体しました。				・現状 学校開放による施設利用の際のAED利用については、各団体に対し利用する学校のAEDの場所及びその使用方法について把握するようお願いしています。			
・評価 総合運動公園野球場のリニューアルに合わせ、老朽化した備品交換を実施しました。利用者の利便性向上が図れました。				・課題 AEDは、各学校職員玄関等の校舎内設置されており、緊急時の使用に当たっては、窓ガラスを割って利用するよう案内していますが、緊急時に窓ガラスを割ることは容易ではなく、躊躇してしまうことや怪我の恐れが考えられます。			
・課題に対する改善点 スポーツを支える備品については、安心・安全に競技ができるよう計画的に更新する必要があります。				・取組 学校開放による施設利用に対応するため、屋外型AED収納ボックスを設置します。			

5. 学識経験者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する方2名を点検評価委員に委嘱した。以下は、点検評価委員からの意見である。

令和4年度は、3年目に入る新型コロナウイルス感染症の対応策に追われながらも、平時の活動を少しずつ取り戻すべく新たな対策と工夫を重ねる一年だったと思います。子どもたちをはじめとした市民の安全と健康を第一優先に日々奮闘対応されてきた教育行政や教育の現場に携わる皆様に、まずもって敬意を表します。

1 全体的な評価

教育委員会が所轄する諸事業全般について充実した事業展開をしていると評価します。

「子ども・子育て」に関する事業としては、学童保育の充実が挙げられます。若い子育て世代が増加しています。今後も子ども・子育ての支援として、学童保育のニーズが高まる一方ですので、事業の充実と拡充を今後も図ってください。

「学校教育」においては、確かな学力の育成のための諸事業も充実した内容となっています。流山市GIGAスクール構想により、ICTを活用した様々な取組が年々増加していることがわかります。引き続きICT環境整備と活用に努めてください。

また、学校サポート教員派遣研究事業や学校水泳指導等支援事業をはじめとした様々な学校支援事業は学校教育の充実とともに、教職員の働き方改革にもつながっていきます。諸事業の様々な取組を通して、一層の改善や充実を図ってください。

教育環境の整備として、児童生徒の増加に伴う小学校の新設や移転、小中学校校舎の老朽化に伴う改修等、着実に実行しています。今後も遅滞なく教育環境の整備に努めてください。

生涯学習の環境整備においては、老朽化した施設や設備への速やか

な改修や修繕整備が課題です。改修に当たっては、より利便性や機能性を高めるなどの対応も欠かせません。今後も計画的・継続的な対応を図ってください。

2 個別の事業ごとの評価

I - 1 学童クラブの充実

(1) 学童保育運営事業

支援員の資質や指導力等の向上を図り、充実した研修ができたこと、支援員の確保のための処遇が改善されたことを評価します。学童保育に係るニーズは年々高まる一方です。一方では、事故も増えています。引き続き支援員の資質向上を図るとともに、人員確保のための処遇改善に努めてください。

I - 2 青少年の健全育成の促進

(1) 青少年相談事業（生涯学習課）

休日に特別相談窓口を開設したのに相談件数の増加に結びつかなかったのは残念です。相談窓口への潜在的なニーズは高いと思われます。引き続き相談窓口の周知や相談しやすい窓口の設置に工夫を重ねて尽力してください。

II - 1 確かな学力の育成

(1) 小学校英語活動推進事業

授業の指導目標は提示されているが、評価を行うことができていないのは問題です。

指導目標と評価は一体のものです。次年度は改善を図ってください。

(2) 小学校教育指導運営事業と中学校教育指導運営事業

児童・生徒の読書活動推進のための取組を評価します。図書の出冊数も増えています。1校1人（小学校）と1校1.5人（中学校）の司書の配置に向け、さらに努力してください。

(3) 中学校ALT配置事業

生きた英語に触れ、実際に英語を活用するという観点からALTとICTをいかに活用していくかが大切です。引き続き課題解決のための創意工夫を重ね、改善を図ってください。

(4) 学校サポート教員派遣研究事業

特別に支援が必要な児童生徒への対応や授業支援や習熟度別学習の補助などサポート教員の配置はきめ細かい指導には欠かせません。学校サポート教員の配置が年々増加していることを評価します。引き続きサポート教員の配置増加を図ってください。

(5) 学校水泳指導等支援事業

本事業は学校における水泳指導の様々な課題を解決する大変有効な取組と評価します。委託業者の開拓など諸課題もあると思いますが、解決を図りながら事業拡大を期待します。

II-2 教育環境の整備

(1) ICT学習空間整備事業

ICT学習空間環境整備が着々と進んでいることを評価します。今後は、児童生徒の情報活用能力や情報モラルの向上を図るとともに、指導する教員のスキルアップを図って行ってください。

II-3 児童・生徒の安全確保と健康増進

(1) 子ども専用いじめホットライン相談事業といじめ等対策推進事業

両事業ともいじめ等対策推進事業として効果を上げていると評価します。相談窓口も専用アプリを活用するなど、相談しやすい体制を整えています。引き続き相談体制の整備充実させ、いじめや不登校等の課題に対応して行ってください。

(2) 学校給食公会計化事業

物価高騰による保護者の負担軽減と学校職員の負担軽減に寄与する事業であると評価します。

(3) 学校サポート看護師派遣事業

医療的ケアの必要な児童生徒への対応のため大切な支援事業です。今後も学校のニーズを的確に把握し、派遣事業を充実させてください。

II-4 特別支援教育、教育相談の充実・構築

(1) 特別支援教育推進事業

特別支援教育の経験の浅い教員や若手の教員が増えているため、専門性を高めることが課題のようです。職員の研修を工夫したり、特別支援スーパーバイザーの巡回指導など事業の充実を図っていま

す。今後もこの事業を充実拡大して行ってください。

(2) 教育研究企画室運営管理事業

不登校児童生徒への対応として重要な事業です。教育支援センターフレンドステーションしんかわを増設するなど、事業の拡充を図っています。今後も支援事業の充実を図ってください。

II - 5 つながりのある教育

(1) 流山市部活動支援事業

部活動外部指導員の配置は教職員の働き方改革を図るために重要な支援授業です。今後もより多くの外部指導員が必要となります。早期の配置など学校の要望や希望に迅速に対応できるよう、一層の整備に尽力してください。

III - 2 生涯学習の環境整備

文化会館、中央図書館や博物館など老朽化した生涯学習施設の改修や整備の事業は利用者の安心・安全確保には重要な事業です。今後も遅滞なく整備をして行ってください。

IV - 1 文化祭開催事業

市内の代表的な文化の祭典として今後も充実した文化祭となるよう尽力してください。

3 評価表の形式や表現について

教育委員会が所轄する主要事業の評価となり、評価表の記載形式も変わりましたが、大変すっきりし見やすくなりました。

点検評価委員 千田 茂夫

1 全体的な評価

コロナ禍が落ち着きを見せてきた年度の中で、感染対策を第一にコロナ禍の経験を上手く生かし関係機関・現場が連携を図ったことも大きな要因として、各事業成果を上げていることに感心しました。

2 個別の事業ごとの評価

I 子ども・子育て

I-1 学童クラブの充実

共働き家庭が急増の現在学童クラブの運営・施設整備は重要と考えます。運営に関しては、指定法人に委ねられていると思いますが、研修等を通して支援員の資質向上が図られていることは素晴らしいと思います。新規開校に伴う施設整備も順調に進められていることも評価します。

I-2 青少年の健全育成の促進

青少年相談事業は、相談窓口を休日も開設したが相談件数に結び付かなかったということですが、窓口を広くしておくことが重要と考えます。是非、周知に加え継続をお願いします。

II 学校教育

II-1 確かな学力の育成

小学校の英語教育に関して評価はやはり難しいと思いますが、指導員や指導助手・担任が連携してティームティーチングによる授業作りを推進していることを評価したいと思います。中学校の英語教育に関しては、小学校の英語教育を基礎として実践的なものになることを期待します。

小・中学校ともに貸出冊数の実績が前年を上回っています。学校図書館司書の配置・研修が活かされていると感じます。読書の重要さ・楽しさを伝え、読書活動の推進をお願いします。

教育研修推進事業に関しては、研修回数・参加人数ともに前年を上回り、資質・能力の向上が図れたことを評価します。個人の尊重から多種多様な対応が必要となった教育現場においてサポート教員・スクールアシスタントの配置は重要と考えます。

学校水泳指導等支援事業に関しては、モデル校 1 校を実施し

た結果、児童の評価は高く教職員の負担軽減が報告されています。今後の事業拡大が円滑に進むことを期待します。

Ⅱ－２ 教育環境の整備

ICT学習空間整備事業に関しては、流山市GIGAスクール構想が着々と進んでいると感じました。ネットワークの増強工事実施により通信障害が無くなったことも大きな要因だと思いますが、教職員のがんばりも評価させていただきます。

校舎等の改修事業はほぼ予定通り行われています。各校屋内運動場への空調機設置が年度を超えた対応でした。

担任サポート教員配置事業に関しては、適正な配置人数を確保できたことを評価します。

Ⅱ－３ 児童・生徒の安全確保と健康増進

子ども専用いじめホットライン相談事業に関して、「小中学生なやみホットライン」と名称変更したことが功を奏したのか相談件数が増えました。いじめだけでなく、友達関係や学校に関して相談がふえたのかも知れません。多い事を悪い事と捉えず、相談できる子が増えたと捉えていただき対応をお願いします。

いじめ等防止対策推進事業に関して、スクールロイヤー・ソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携していじめや虐待等に迅速に対応できた事を評価します。

学校給食公会計化事業に関して、公会計化に切り替えた事を評価します。納付率99%という数字に驚かされましたが、関係機関の創意工夫も感じました。

学校サポート看護師派遣事業は、医療的ケア児を持つ親にとっても安心して通学できる要素となります。ケア児の情報や対応等、関係者が共有し安心・安全に就学できる環境を確保できたことを評価します。

Ⅱ－４ 特別支援教育、教育相談の充実・構築

特別支援教育推進事業に関しては、様々な分野の講師を招き研修するなど特別な支援が必要な児童生徒に対し熱心な対応が窺えます。市教育委員会主催の就学説明会で、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室や就学相談の流れを確認できた保護

者は、選択肢がいろいろあることに気づかされたと思います。面談の上、保護者や本人が望む就学先への進学や転級が実現できたことを評価します。

教育研究企画室運営管理事業は、児童生徒の心のケアを図り不登校児童生徒・保護者に寄り添った対応を評価します。また、「フレンドステーションしんかわ」の増設に期待します。

II-5 つながりのある教育

地域による学校支援事業に関しては、学校支援コーディネーターが活躍され、適材適所に地域の人材を派遣して教育活動の充実が図られています。

部活動支援事業は、外部指導員の配置が去年の倍になっています。外部指導員も地域の人材が活かされると期待します。

幼児教育支援センター運営事業は、保幼小関連教育研究会が実施され、情報の共有や学び合いができていることを評価します。

III 生涯学習

III-1 多様な生涯学習機会の充実

「夏休み子ども教室」事業は、児童館が近くにない小山小・南流山小で開催され、参加した子ども達から楽しかったと好評の事業でした。令和4年度で終了は残念です。

図書館資料購入事業は、予算を考慮して幅広い分野の資料を購入できたことを評価します。おおたかの森子ども図書館資料充実事業でのブックセット設置は絵本に親しむ機会ができたと評価します。

III-2 生涯学習の環境整備

各施設の整備事業ですが、新設の南流山地域図書館・既存の各施設の補修改修は計画通りに行われました。利用者が安心して使用できる環境整備を評価します。

IV 文化芸術・歴史

IV-1 市民主体の文化芸術活動の促進

文化祭開催事業は、コロナ禍前の水準に戻り開催した実行委員会と関係者の尽力を評価します。

IV－2 優れた文化芸術に親しめる機会の充実

一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明改修事業は、利用者を考慮した改修・防犯対策は利用者に安心を与え、利用者の増加にも寄与することと思います。

国際室内楽音楽祭共催事業は、市民に質の高い演奏を提供できたことを評価します。スターツおおたかの森ホールの収容人数から考えると3日間の来場者がのべ782人は残念です。

IV－3 歴史的文化的遺産の保存・活用

国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の修復工事は予算超過となっていますが、指定文化財の保存維持には必要と考えます。埋蔵文化財については、集約した管理を目指して計画的に進めていることを評価します。

V スポーツ

V－1 スポーツ活動の促進

大会開催事業としてロードレース大会が3年ぶりに実走方式で開催できました。参加者が減少とありますが永年続いている事業の益々の発展を期待します。

トップアスリート交流事業は本市出身のオリンピックを迎えての実施でした。今後指定管理事業者の運営で実施ということで、期待が膨らみます。

V－2 スポーツ環境の整備

体育施設改修・整備事業、備品等整備事業はほぼ計画通り進んだと思います。コロナ感染予防を個々に行いながらの利用でしたが、利用者数の増加は安心・安全なスポーツ環境の提供にあることを評価します。

3 評価表の形式や表現について

子育て世代の急増という現状からみてI子ども・子育てから始まる記載順が内容を把握し易くなりました。

点検評価委員 井田 尚子